

## 1 デング熱とは

### (1) 感染経路

デング熱とは、デングウイルスによっておこる急性熱性感染症で、このウイルスを保有する蚊に刺されることによって感染します。ヒトからヒトへは直接感染しません。主な媒介蚊は、ネッタイシマカ（日本には常在していません。）、ヒトスジシマカ（青森県以南）です。

ヒトがデングウイルスに感染しても、デング熱を発症する頻度は30～50%です。したがって、感染しても、発症しないことも多く見られます。

熱帯や亜熱帯の全域で流行しており、東南アジア、南アジア、中南米で患者の報告が多くなっています。

デング熱・デング出血熱の発生地域（国立感染症研究所ホームページ）

[http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k04/k04\\_50/kansen01.gif](http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k04/k04_50/kansen01.gif)【日本語のみ】

### (2) 症状

3～7日の潜伏期間の後、発熱、頭痛、筋肉痛、発疹などがあり、1週間程度で回復します。また、ごくまれに一部の患者において出血症状を発症し重篤化する場合があります。

デングウイルスに対する特有の治療薬はありませんので、対症療法となります。

### (3) 予防法は？

デング熱に有効なワクチンはありません。

蚊に刺されないように注意しましょう。海外の流行地に出かける際には特に注意しましょう。

#### 蚊に刺されないための注意事項

- 長袖、長ズボンの着用するなど肌の露出を少なくしましょう。
- 蚊の忌避剤（虫よけスプレー）なども利用しましょう。
- 不要な水たまりをなくすなど、蚊の発生を防ぎましょう。

## 2 デング熱の国内感染症例の概要について

平成25年8月に日本国内を旅行し、帰国後にデング熱に感染した可能性があるドイツ人患者が報告され、国内での感染が疑われる事例が初めて報告されました。

また、平成26年8月には、海外渡航歴がないデング熱患者が確定され、国内でデング熱に感染したと考えられる事例が複数報告されています。疫学調査の結果、患者が発症前に都立代々木公

園において蚊に刺されたことが確認されていることから、関係自治体において更なる関係者調査を行うとともに、東京都では都立代々木公園で蚊の駆除を行い、安全確保を期するため、現在一部を除き同公園を閉鎖しています。

デング熱について（厚生労働省ホームページ）

【日本語】 [http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/dengue\\_fever.html](http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/dengue_fever.html)

【英語】 <http://www.mhlw.go.jp/english/>

### 3 デング熱に関する相談

すべての蚊がデングウイルスを保有している訳ではありません。また、国内の感染症例の場合には、現在のところ限られた場所での発生が疑われているところであり、蚊に刺された場合、過分に心配する必要はありません。

ご心配な場合は、最寄りの保健所等にご相談ください。なお、蚊に刺されて発熱などの症状がある場合には、かかりつけの医療機関等を受診してください。

保健福祉事務所連絡先

<http://www.pref.nagano.lg.jp/koho/kensei/soshiki/soshiki/genchi.html#hoken>

【日本語のみ】

### 4 多言語での相談先

多文化共生くらしのサポーター（ポルトガル語、中国語、タガログ語、タイ語、英語）

平日（月～金）AM9：30～PM5：30

TEL：026-235-7186

FAX：026-235-4738

E-mail：[mail@anpie.or.jp](mailto:mail@anpie.or.jp)